



2091-0.

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Hironobu ISHIDA Conf.: 6943
Appl. No.: 09/773,618 Group: UNASSIGNED
Filed: February 2, 2001 Examiner: UNASSIGNED
For: PRINTING SYSTEM

LETTER

Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

May 16, 2001

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55(a), the applicant(s) hereby claim(s) the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2000-398311	December 27, 2000
JAPAN	2000-027963	February 4, 2000

A certified copy of the above-noted applications is attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fee required under 37 C.F.R. §§ 1.16 or 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By

Michael K. Mutter, #29,680

MKM:lhb
2091-0231P

P.O. Box 747
Falls Church, VA 22040-0747
(703) 205-8000

Attachments

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



Secret No. 2091-0231P
Appln. No. 09/773,618
Filed: Feb. 2, 2001
Inventor: Hironobu ISHIDA
Birch, Stewart, Kolasch & Birch, LL
(703) 205-8000

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年12月27日

願番号
Application Number:

特願2000-398311

願人
Applicant(s):

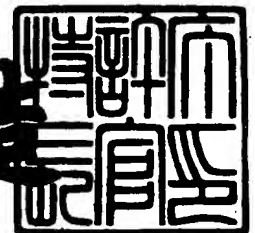
富士写真フイルム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 P25833J

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 13/10
G06F 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 石田 浩信

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000- 27963

【出願日】 平成12年 2月 4日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
 【発明の名称】 プリントシステム
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像のプリントを指示するためにユーザから提供された、少なくとも前記プリントを行う画像を特定する画像 I D および該画像のプリント依頼枚数を表す情報を含み、それぞれを識別するための注文 I D が付与されてなる注文情報を保管するラボデータベースを有し、該注文情報に基づいて前記画像のプリントを行ってプリント画像を得るラボサーバを備えたプリントシステムにおいて、

前記ラボサーバは、前記ラボデータベースに保管された注文情報の前記プリント依頼枚数を前記プリント画像の実枚数に変更する変更手段を備えたことを特徴とするプリントシステム。

【請求項 2】 前記変更手段は、前記注文 I D の指定、および該指定された注文 I D に含まれる画像 I D についての前記プリント依頼枚数の前記実枚数への変更を受け付け、該変更受け付け結果に基づいて前記プリント依頼枚数を前記実枚数へ変更する手段であることを特徴とする請求項 1 記載のプリントシステム。

【請求項 3】 前記ラボサーバは、前記プリント画像の実枚数が確定した場合、該実枚数が確定した画像 I D を含む注文 I D に基づいて、前記ラボデータベースに保管された前記注文情報の内容を確定させる確定手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のプリントシステム。

【請求項 4】 前記ユーザから提供された前記注文情報を保管するデータベースを有し、該注文情報をネットワークを介して前記ラボサーバに転送する少なくとも 1 つの中継サーバをさらに備え、

前記ラボサーバは、前記注文情報のプリント依頼枚数を前記プリント画像の実枚数に変更する変更情報を、前記注文情報に付与された注文 I D に対応付けて生成して前記中継サーバに送信する送信手段をさらに備え、

前記中継サーバは、該送信された変更情報に基づいて、前記データベースに保管された前記注文情報のうち、前記変更情報に対応付けられた注文 I D が付与さ

れた注文情報のプリント依頼枚数を前記プリント画像の実枚数に変更する変更手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のプリントシステム。

【請求項 5】 前記送信手段は、前記プリント画像の実枚数が確定したことを示す確定情報を該実枚数が確定した画像 I D を含む注文情報に付与された注文 I D に対応付けて生成して前記中継サーバに送信する手段であり、

前記中継サーバの変更手段は、前記送信された確定情報に基づいて、前記データベースに保管された前記注文情報のうち、前記確定情報に対応付けられた注文 I D が付与された注文情報の内容を確認する手段であることを特徴とする請求項 4 記載のプリントシステム。

【請求項 6】 前記ラボサーバは、前記ラボデータベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成するための請求書作成データを生成するデータ生成手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のプリントシステム。

【請求項 7】 前記ラボサーバおよび／または前記中継サーバは、前記ラボデータベースおよび／または前記データベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成するための請求書作成データを生成するデータ生成手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 4 または 5 記載のプリントシステム。

【請求項 8】 前記請求書作成データに基づいて、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えたことを特徴とする請求項 6 または 7 記載のプリントシステム。

【請求項 9】 前記ラボデータベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のプリントシステム。

【請求項 1 0】 前記ラボデータベースおよび／または前記データベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えたことを特徴とする請求項 4 または 5 記載のプリントシステム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像のプリントを依頼する注文情報に基づいて、プリント画像を作成するプリントシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

デジタルカメラを用いて撮影を行う等によりユーザが所有しているデジタルの画像データをプリントしたり、CD-Rに記録してユーザに提供したりするデジタルフォトサービスを行うデジタルフォトサービスシステムが知られている。このようなシステムの一形態として、ユーザの画像データおよび画像データのプリント依頼枚数などを記述した注文情報をインターネット等のネットワークを介してプリント注文サーバに転送して画像データのプリントを行うようにしたネットワークフォトサービスシステムも提案されている。

【0003】

このようなネットワークフォトサービスシステムにおいては、デジタルフォトサービスをユーザに提供するに当り、ユーザの注文を受け付ける注文業者、注文業者からの注文を取り次ぐ受注サイト、受注サイトからの注文を取り次ぐ注文受付センタおよびプリントを行うプリント生産ラボ等が連携して、画像データのプリントおよびプリント画像の配送を行うことが考えられている。具体的には、注文業者、受注サイト、注文受付センタおよびプリント生産ラボを備えたシステムの場合、注文業者は複数のユーザからの画像データおよび注文情報を受け付け、受注サイトは複数の注文業者からの画像データおよび注文情報を受け付け、さらに注文受付センタは複数の受注サイトからの画像データおよび注文情報を受け付ける。ここで、注文情報の内容はプリントサイズやトリミングの指定等の多岐に亘るため、その注文情報を処理できないプリント生産ラボも存在する。したがって、注文受付センタは注文情報の内容に応じて注文を処理可能なプリント生産ラボに画像データおよび注文情報を転送し、これによりプリント生産ラボにおいて注文情報に応じたプリントが行われる。ここで、注文情報にはプリント画像の受取場所、受け取り方法などが記載されており、これによりユーザは所望とする場所（例えば取次店）においてあるいは方法（郵送等）により、プリント画像を受

け取ることができる。なお、このようなネットワークフォトサービスシステムにおいては、ユーザが直接注文受付センタに注文を行うようにしたシステム、あるいは注文受付センタを介することなく、受注サイトからプリント生産ラボに直接画像データおよび注文情報を転送するようにしたシステムも提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、プリント生産ラボにおいて得られたプリント画像は、ラボのオペレータによってプリント枚数やその画質がチェックされた後に、ユーザにあるいはユーザが指定する取次店に渡される。ここで、プリントの依頼を受けた画像データが壊れていたり、真っ黒や真っ白の画像のような明らかなミス画像である場合、公序良俗に反する画像である場合には、プリントが行われず、またはプリントが行われても、プリント画像がユーザに受け渡されないため、実際にユーザに受け渡されたプリントの実枚数と注文情報により指定されたプリント依頼枚数とが異なるものとなる。したがって、注文情報のみを参照したのではプリントの実枚数を把握することができず、とくにユーザや取次店に対して請求書を発行する場合に注文情報のみを参照したのでは、実枚数よりも多いプリント枚数分の請求がなされてしまう。

【0005】

このため、従来はラボのオペレータが上記チェック時に注文情報をプリントアウトして、プリントされなかった画像を手書きでチェックしてプリント枚数を修正し、請求書を発行するシステムや取次店にそのチェック結果を送ることにより、実際のプリント枚数を知らせていた。しかしながら、プリントアウトされた注文情報を使用してプリント枚数の修正を行っていたのでは、取次店や請求書発行システムにおいても手作業で注文情報を修正する必要があるため、その作業が煩わしくまた作業効率も悪い。

【0006】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、効率よく注文情報を修正できるプリントシステムを提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明によるプリントシステムは、画像のプリントを指示するためにユーザから提供された、少なくとも前記プリントを行う画像を特定する画像 I D および該画像のプリント依頼枚数を表す情報を含み、それぞれを識別するための注文 I D が付与されてなる注文情報を保管するラボデータベースを有し、該注文情報に基づいて前記画像のプリントを行ってプリント画像を得るラボサーバを備えたプリントシステムにおいて、

前記ラボサーバは、前記ラボデータベースに保管された注文情報の前記プリント依頼枚数を前記プリント画像の実枚数に変更する変更手段を備えたことを特徴とするものである。

【0008】

ここで、「注文情報を提供する」とは、注文情報をユーザのパソコンからネットワークを介して転送することによりラボサーバに提供するものであってもよく、注文情報を F D、C D - R、M O 等の記録媒体に記録してラボサーバに持ち込むことにより提供するものであってもよい。

【0009】

また、ラボサーバは、ネットワークフォトサービスシステムにおけるプリント生産ラボに設けられる。

【0010】

なお、本発明によるプリントシステムにおいては、前記変更手段は、前記注文 I D の指定、および該指定された注文 I D に含まれる画像 I D についての前記プリント依頼枚数の前記実枚数への変更を受け付け、該変更受け付け結果に基づいて前記プリント依頼枚数を前記実枚数へ変更する手段であることが好ましい。

【0011】

また、本発明によるプリントシステムにおいては、前記ラボサーバは、前記プリント画像の実枚数が確定した場合、該実枚数が確定した画像 I D を含む注文 I D に基づいて、前記ラボデータベースに保管された前記注文情報の内容を確定させる確定手段をさらに備えることが好ましい。

【0012】

ここで、「注文情報の内容を確定する」とは、例えば注文情報のヘッダ部分に確定したことを示す情報を付与する、確定したことを示すフラグをたてる等することを用いる。

【0013】

また、本発明によるプリントシステムにおいては、前記ユーザから提供された前記注文情報を保管するデータベースを有し、該注文情報をネットワークを介して前記ラボサーバに転送する少なくとも1つの中継サーバをさらに備え、

前記ラボサーバは、前記プリント画像の枚数と前記プリント依頼枚数とが異なる場合、前記注文情報のプリント依頼枚数を前記プリント画像の枚数に変更する変更情報を、前記注文情報に付与された注文IDに対応付けて生成して前記中継サーバに送信する送信手段をさらに備え、

前記中継サーバは、該送信された変更情報に基づいて、前記データベースに保管された前記注文情報のうち、前記変更情報に対応付けられた注文IDが付与された注文情報のプリント依頼枚数を前記プリント画像の実枚数に変更する変更手段を備えることが好ましい。

【0014】

なお、中継サーバは、ネットワークフォトサービスシステムにおける注文業者、受注サイト、注文受付センタ等のユーザとプリント生産ラボとの間に介在するシステムに設けられる。

【0015】

この場合、前記送信手段は、前記プリント画像の実枚数が確定したことを示す確定情報を該実枚数が確定した画像IDを含む注文情報に付与された注文IDに対応付けて生成して前記中継サーバに送信する手段であり、

前記中継サーバの変更手段は、前記送信された確定情報に基づいて、前記データベースに保管された前記注文情報のうち、前記確定情報に対応付けられた注文IDが付与された注文情報の内容を確定する手段であることが好ましい。

【0016】

また、この場合、ユーザからは中継サーバに注文情報が提供されるが、提供の態様としては、注文情報をネットワークを介して転送することにより提供するも

のであってもよく、注文情報を記録媒体に記録して中継サーバに持ち込むことにより提供するものであってもよい。

【 0 0 1 7 】

さらに、本発明によるプリントシステムにおいては、前記ラボサーバは、前記ラボデータベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成するための請求書作成データを生成するデータ生成手段をさらに備えることが好ましい。

【 0 0 1 8 】

とくに、中継サーバを有する場合には、前記ラボサーバおよび／または前記中継サーバは、前記ラボデータベースおよび／または前記データベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成するための請求書作成データを生成するデータ生成手段をさらに備えることが好ましい。

【 0 0 1 9 】

なお、データ生成手段を備える場合、前記請求書作成データに基づいて、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えることが好ましい。

【 0 0 2 0 】

また、本発明によるプリントシステムにおいては、前記ラボデータベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えることが好ましい。

【 0 0 2 1 】

とくに中継サーバを有する場合には、前記ラボデータベースおよび／または前記データベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成する請求書発行システムをさらに備えることが好ましい。

【 0 0 2 2 】

ここで、請求書はユーザがプリントの受け取りを指示した取次店に発行するものであってもよく、ユーザに対して直接発行するものであってもよい。

【 0 0 2 3 】

【発明の効果】

本発明によれば、ラボサーバが有するラボデータベースに注文情報を保管しておき、ラボデータベースに保管された注文情報のプリント依頼枚数が実枚数に変

更されて、注文情報に記述されているプリント依頼枚数が実枚数と一致するものとなる。したがって、ラボデータベースを参照すれば、プリントの実枚数を容易に知ることができ、これにより、プリントの実枚数に基づいて種々の処理を行う取次店や請求書発行システムの便宜を図り、効率のよいプリントサービスを提供することができる。

【0024】

また、プリント画像の実枚数が確定した際に、実枚数が確定した画像IDを含む注文情報に付与された注文IDに基づいて注文情報の内容を確定させれば、その注文IDが付与された注文情報を参照することによりプリント枚数が確定したことを知ることができ、これにより写真店や請求書発行システムにおいては、注文情報を参照して直ちに確定したプリント枚数を知ることができる。

【0025】

さらに、本発明においては少なくとも1つの中継サーバを設け、この中継サーバのデータベースに注文情報を保管しておいてもよく、この場合、ラボデータベースの注文情報が変更されると、ラボサーバの送信手段が注文IDに対応付けて変更情報を生成してこれを中継サーバに送信し、中継サーバにおいてはこの変更情報に基づいてデータベースに保管された注文情報のうち、変更情報に対応付けられた注文IDが付与された注文情報のプリント依頼枚数が実枚数に変更される。したがって、中継サーバのデータベースを参照することによっても、実際のプリント枚数を容易に知ることができ、これにより、写真店や請求書発行システムの便宜を図り、効率のよいプリントサービスを提供することができる。

【0026】

また、プリント画像の枚数が確定したことを表す確定情報をも中継サーバに転送し、中継サーバにおいて注文情報の内容を確定させれば、中継サーバに保管されている注文情報を参照することによりプリント枚数が確定したことを知ることができ、これにより写真店や請求書発行システムにおいて、注文情報を参照して直ちに確定したプリント枚数を知ることができる。

【0027】

さらに、ラボデータベースに保管された、あるいは中継サーバを有する場合に

はラボデータベースおよび／または中継サーバのデータベースに保管された注文情報を参照して、請求書を作成するための請求書作成データを生成することにより、写真店や請求書発行システムは、この請求書作成データを参照して請求書を発行することができ、これにより、効率のよいプリントサービスを提供することができる。

【 0 0 2 8 】

また、ラボデータベースに保管された、あるいは中継サーバを有する場合にはラボデータベースおよび／または中継サーバのデータベースに保管された注文情報を参照して請求書を発行する請求書発行システムを備えることにより、写真店や請求書発行システムの便宜を図り、効率のよいプリントサービスを提供することができる。

【 0 0 2 9 】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 3 0 】

図 1 は本発明の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図である。図 1 に示すように、本実施形態によるプリントシステムは、発注者 1、受注サイト 2 およびプリント生産ラボ（以下単にラボとする） 3 がネットワーク 4 を介して接続されてなるものである。なお、図 1 においては便宜上発注者 1、受注サイト 2 およびラボ 3 を 1 つのみしか記載していないが、実際には受注サイト 2 は複数の発注者 1 と接続され、ラボ 3 は複数の受注サイト 2 と接続されている。また、ラボ 3 も複数存在するものである。

【 0 0 3 1 】

発注者 1 はユーザそのものであってもよく、複数のユーザからの注文をまとめる注文業者であってもよいが、本実施形態においては注文業者を発注者 1 とする。発注者 1 は注文サーバとしてのパソコン 1 1 を有し、ネットワーク 4 を介して受注サイト 2 およびラボ 3 とのデータのやりとりを行うことが可能である。また、発注者 1 はユーザが作成した注文情報 C および画像データ S の転送を受け、これらを受注サイト 2 に転送する。図 2 は注文情報 C の内容を示す図である。図 2

に示すように、注文情報Cには、その注文情報Cを特定する注文ID（ここではN00001とする）、1，2等の連続番号からなる画像ID、プリントを依頼する画像のファイル名、プリント依頼枚数、プリントサイズ、表面の光沢の有無等が含まれ、これがプリントを依頼する画像ID毎に記述されている。また、最後から2番目の行にプリントの受取方法が、最終行にトータルプリント依頼枚数が記述されている。

【0032】

受注サイト2は、発注者1のパソコン11とネットワーク4により接続されるプリント受注システム21を有しており、複数の発注者1からの注文情報Cを受信し、その注文情報Cの内容に応じてプリントを行うラボ3の振り分けを行う。

【0033】

このラボ3の振り分けは、例えばプリントを依頼したユーザの近所に存在するラボや、ユーザが依頼する注文内容を処理可能なラボ等を選択することにより行われる。プリント受注システム21は注文情報Cを保管するためのデータベース22を有しており、パソコン11から転送された注文情報Cは、注文IDに基づいて識別可能なようにここに保管される。

【0034】

また、プリント受注システム21には、後述するようにラボ3から送信される変更確定情報Hおよび確定情報に基づいて、データベース22に保管されている注文情報Cの内容を変更および確定する変更確定手段23を備える。さらに、プリント受注システム21には、ユーザがプリントの受け取りを依頼する取次店あるいは直接ユーザに対して請求書を発行する請求書発行システム6において、請求書の作成に必要な請求書作成データDを生成するデータ生成手段24を備える。なお、請求書発行システム6は、ネットワーク5を介してプリント受注システム21と接続されている。

【0035】

ラボ3は、プリント出力を実施するシステムであり、受注サイト2から転送された画像データSを蓄積するデータベース31と、注文情報Cに基づいて画像データSのプリントを行うプリンタ等の出力手段32と、注文情報Cを蓄積するデ

ータベース 3 3 と、データベース 3 3 に蓄積された注文情報 C を後述するように変更してその内容を確定させるための変更確定情報 H および注文情報 C の内容を確定するための確定情報を生成するとともに、その変更確定情報 H および確定情報を受注サイト 2 に送信する変更確定手段 3 4 と、変更確定手段 3 4 へ種々の入力を行うキーボード、マウス等からなる入力手段 3 5 と、オペレータが作業を行うために必要な情報を表示するモニタ 3 6 と、種々のデータを受注サイト 2 に送信するためのネットワークアダプタ、モデム等からなる送信手段 3 7 とを備える。

【 0 0 3 6 】

なお、変更確定手段 3 4 がラボの変更手段および確定手段に、変更確定手段 2 3 が中継サーバの変更手段に対応する。

【 0 0 3 7 】

次いで、本発明の実施形態について説明する。図 3 は本実施形態の動作を示すフローチャートである。発注者 1 はユーザにより作成された注文情報 C およびユーザの画像データ S の転送を受付け（ステップ S 1）、これらを受注サイト 2 に転送する（ステップ S 2）。受注サイト 2 においては、注文情報 C がプリント受注システム 2 1 のデータベース 2 2 に保管されるとともに（ステップ S 3）、注文情報 C および画像データ S が指定されたラボ 3 に転送される（ステップ S 4）。ラボ 3 においては、画像データ S および注文情報 C がデータベース 3 1、3 3 にそれぞれ保管される（ステップ S 5）。そして、注文情報 C に基づいてデータベース 3 1 から画像データ S を読み出して出力手段 3 2 においてプリント画像の出力を行う（ステップ S 6）。

【 0 0 3 8 】

このようにしてプリント画像が出力されると、ラボ 3 のオペレータにより実際にユーザに受け渡されるプリントの実枚数のチェックが行われる。ここで、注文情報 C によりプリントが指示されていても、画像データが壊れている場合、真っ黒あるいは真っ白の画像、公序良俗に反する画像等についてはプリントが行われない。あるいはプリントが行われたとしてもユーザに渡されるプリントからは除かれてしまう。このため、注文情報 C に記述されたトータルプリント依頼枚数あ

るいは画像ID毎のプリント依頼枚数とプリントの実枚数とが異なるものとなる場合がある。したがって、オペレータはトータルプリント依頼枚数あるいは画像ID毎のプリント依頼枚数とプリント実枚数とをチェックし、これらが異なる場合には、データベース33に保管されている注文情報Cの変更指示を入力手段35から入力する。これにより、ステップS7において後述するように注文情報Cの一覧が表示され、ステップS8において注文情報Cが変更される。以下、注文情報Cの変更について説明する。

【0039】

まず、ラボ3のオペレータは、データベース33に保管されている注文情報Cの一覧をモニタ36に表示する。図4は注文情報Cの一覧の表示形態を示す図である。図4に示すように、モニタ36には注文情報の選択ウィンドウW1が表示され、この選択ウィンドウW1内に、注文情報Cのオーダー番号、取次店コード、受付番号、注文日付、プリント枚数、画像数、処理日付および注文情報Cが処理済みであるか取り消されたかを示す状態が一覧として表示される。また、選択ウィンドウW1の上部には、未処理の注文情報Cを表示させるための未処理表示ボタンB1、オーダーを取り消すすなわち注文情報C自体を取り消すためのオーダー取消ボタンB2、オーダーの明細すなわち注文情報Cに含まれる個々の画像についての注文を取り消すために、後述する取消ウィンドウを表示するオーダー明細取消ボタンB3、注文情報Cが記録された帳票を再出力させるための帳票再出力ボタンB4、表示された注文情報Cを全て選択／解除するための全て選択／解除ボタンB5、一覧において選択された注文情報Cおよびこれに付随する画像データを外部メディアあるいはハードディスクに出力するオーダー書出し実行ボタンB6、注文情報Cに基づいて再度プリントを行わせるための再プリントボタンB7、および注文情報Cをその日付に基づいて表示させるために日付を選択する入力ボックスが表示される。また、選択ウィンドウW1の下部には、取引先を選択するためのプルダウンメニュー、ソート順を選択させるためのチェックボックス、および選択ウィンドウW1を閉じるための閉じるボタンB8が表示される。なお、以降の説明においては、注文情報Cに付与された注文IDがオーダー番号に対応する。

【 0 0 4 0 】

そして、オペレータが、この選択ウィンドウW1において、変更する注文情報Cのオーダー番号を選択して、オーダー明細取消ボタンB3を押すことにより、図5に示す取消ウィンドウW2がモニタ36に表示される。図5に示すように、取消ウィンドウW2には、選択ウィンドウW1において選択した注文情報Cについての、オーダー番号、取次店コード、取引先、注文枚数（トータルプリント依頼枚数）、画像数、受付番号、顧客氏名、顧客住所および電話番号が表示され、さらに、その注文情報Cに含まれる画像のファイル名、サムネイル画像、サイズ、および枚数が画像IDと対応付けて表示される。また、画像IDと対応付けて、補正チェックボックスおよび取消チェックボックスが表示される。さらに、取消ウィンドウW2に表示されていない他の画像を表示させるための前ボタンB9および次ボタンB10、取消をキャンセルするためのキャンセルボタンB11および取り消した条件を保存するための取消条件保存ボタンB12が表示される。

【 0 0 4 1 】

オペレータは、プリントの実枚数を参照して、プリント枚数が変更された画像IDについて枚数の変更を行う。例えば、ある画像IDについて、プリントが全くなされなかった、あるいはプリントされてもユーザに受け渡されない場合には、その画像IDに対応する取消チェックボックスをチェックする。また、ある画像IDについて画像の色補正が行われた場合には、補正チェックボックスをチェックする。その後、取消条件保存ボタンB12をクリックすることにより、データベース33に保存された注文情報Cが変更される。

【 0 0 4 2 】

次いで、モニタ36には注文情報Cの変更確定ウィンドウが表示される。図6は注文情報Cの変更確定ウィンドウを示す図である。図6に示すように、変更確定ウィンドウW3には、注文情報Cのオーダー番号、受付番号、処理日付および注文情報Cが確定したか未確定であることを示す状態が一覧として表示される。また、この一覧には各オーダー番号に対応付けてチェックボックスが表示されている。また、変更確定ウィンドウW3の上部には、プリントの検品時に使用される受注管理リスト（納品単位でグループ化された各注文情報Cのリスト）を再度発

行させるためのシート再発行ボタン B 1 3、表示された注文情報 C を全て選択／解除するための全て選択／解除ボタン B 1 4、および変更を確定するための確定ボタン B 1 5 が表示されている。なお、この変更確定ウィンドウ W 3 を表示した際に、チェックボックスはチェックされていない状態にあり、チェックボックスをチェックし、確定ボタン 1 5 を押すことにより、チェックが付与された注文情報 C のみその内容が確定され、変更確定情報 H が生成される（ステップ S 9）。なお、注文情報 C の内容は変更されなかったが、チェックボックスがチェックされた注文情報 C については、その内容を確定するための確定情報が生成される。また、データベース 3 3 に保管された注文情報 C についての内容の確定はそのヘッダに確定した旨を記述する、あるいは確定したことを示すフラグをたてることにより行われる。

【 0 0 4 3 】

図 7 は変更確定情報 H および確定情報を模式的に示す図である。変更確定情報 H には、変更が確定した注文情報 C についての注文 I D が記述され、プリントされなかった、あるいはプリントされたがユーザへの受け渡しが行われない画像については、その画像の画像 I D が記述される。なお、ある画像について、プリントおよびユーザへの受け渡しが行われるが、プリント依頼枚数と実枚数とが異なる場合には、その画像の画像 I D と実枚数との記述も行われる。また、注文情報 C に記述された全ての画像について、プリントされなかったあるいはプリントされてもユーザへの受け渡しが行われない場合には、「Cancel All」の記述がなされる。さらに、注文情報 C に記述された全ての画像について、プリントおよびユーザへの受け渡しが行われる場合には、図 7（c）に示すように、確定情報に「OK」の記述がなされる。

【 0 0 4 4 】

このように生成された変更確定情報 H および確定情報は受注サイト 2 に転送される（ステップ S 1 0）。受注サイト 2 のプリント受注システム 2 1 においては、変更確定手段 2 3 が変更確定情報 H および確定情報の転送を受けて、これらに記述されている注文 I D に基づいて、データベース 2 2 に保管されている注文情報 C を変更するとともにその内容を確定する（ステップ S 1 1）。なお、確定情

報に注文情報IDが記述された注文情報Cについては内容の確定のみが行われる。ここで、データベース22に保管された注文情報Cについての内容の確定は、そのヘッダに確定した旨を記述する、あるいは確定したことを示すフラグをたてることにより行われる。

【0045】

そして、内容が確定した注文情報Cに基づいて、データ生成手段24において、請求書発行システム6にて請求書の作成に必要な請求書作成データDが生成される（ステップS12）。生成された請求書作成データDは請求書発行システム6に転送され、ここで請求書が発行され処理を終了する。

【0046】

ここで、従来は、プリントアウトした注文情報Cを参照してラボ3のオペレータがプリント枚数のチェックを手書きで行っており、そのチェックの結果を請求書発行システム6に送り、請求書発行システム6においても手書きの注文情報Cを参照しながら手作業で請求書を発行していたため、非常に手間がかかっていた。本実施形態においては、請求書発行システム6はプリント受注システム21のデータベース22にアクセスし、ネットワーク5を介して請求書作成データDの転送を受けることにより、実枚数に対応した料金を請求可能な請求書を作成することができるため、請求書発行システム6の便宜を図り、効率のよいプリントサービスを提供することができる。

【0047】

なお、上記実施形態においては、変更確定手段34において、注文情報Cの内容を変更するとともに、その内容を確定するための変更確定情報Hを生成しているが、注文情報Cの内容を変更する変更情報のみを生成してもよい。ここで、変更情報の内容は図7に示す変更確定情報Hの内容と実質的に同一であるが、変更情報によりラボ3のデータベース33およびプリント受注システム21のデータベース22に保管された注文情報Cの内容の変更のみがなされる。そして、変更後所定期間経過した後に注文情報Cのこれ以降の変更はないものとして、注文情報Cの内容を確定させればよい。また、一旦変更情報によりデータベース33、21に保管された注文情報Cの内容を変更し、所定期間経過した後に変更確定手

段 3 4 において確定情報を生成し、この確定情報により注文情報 C の内容を確定させるようにしてもよい。

【 0 0 4 8 】

また、上記実施形態において、発注者 1 に注文情報 C を保管するデータベースを設けてもよい。

【 0 0 4 9 】

さらに、上記実施形態においては、受注サイト 2 にデータ生成手段 2 4 を設けて請求書作成データ D を生成し、請求書発行システム 6 が受注サイト 2 にアクセスして請求書作成データ D を受け取るようにしているが、図 8 に示すように、ラボ 3 に請求書作成データ D を生成するデータ生成手段 3 8 を設け、請求書発行システム 6 がラボ 3 にアクセスして請求書作成データ D を受け取るようにしてもよい。また、受注サイト 2 およびラボ 3 の双方にそれぞれデータ生成手段 2 4, 3 8 を設けてもよい。

【 0 0 5 0 】

また、上記実施形態においては、請求書発行システム 6 が受注サイト 2 のデータ生成手段 2 4 から請求書データ D を受け取るようにしているが、図 9 に示すように、受注サイト 2 にデータ生成手段 2 4 を設けることなく、請求書発行システム 6 が受注サイト 2 のデータベース 2 2 にアクセスして注文情報 C の内容を確認するようにしてもよい。この場合、請求書発行システム 6 は、注文情報 C の内容を確認し、その内容に基づいて請求書を作成する。また、この場合、請求書発行システム 6 は、ラボ 3 のデータベース 3 3 にアクセスして注文情報 C の内容を確認してもよく、受注サイト 2 およびラボ 3 の双方にアクセスして注文情報 C の内容を確認してもよい。

【 0 0 5 1 】

さらに、上記実施形態においては、請求書発行システム 6 において請求書の発行を効率よく行うために本発明を適用しているが、ユーザがプリント画像を取りに行く写真店において請求書の発行を行う際にも、写真店が、受注サイト 2 あるいはラボ 3 から請求書作成データ D の転送を受けることにより、請求書の発行、さらにはプリント枚数の確認を効率よく行うことができる。

【 0 0 5 2 】

また、上記実施形態においては画像データ S をプリント出力する場合について説明しているが、画像データ S を C D - R に書き込む場合にも、本発明を適用することができる。

【 0 0 5 3 】

また、上記実施形態においては、受注サイト 2 からラボ 3 に画像データ S および注文情報 C を転送しているが、受注サイト 2 とラボ 3 との間に、複数の受注サイト 2 からの画像データ S および注文情報 C の転送を受け付け、ラボ 3 への注文情報の振り分けを行う注文受付センタを設けるようにしてもよい。この場合、注文受付センタにも注文情報 C を保管するデータベースを設け、ラボ 3 から変更確定情報 H の転送を受けた際に、対応する注文情報 C が保管されている受注サイトを判別し、その受注サイトに変更確定情報 H を転送することができる。

【 0 0 5 4 】

さらに、発注者 1 とラボ 3 との間、あるいはユーザとラボ 3 との間に複数のサイト、ラボ、センタなどのシステムを介在させるようにしてもよい。この場合、注文受付センタや他のサイト、ラボにも注文情報 C を保管するデータベースを設け、実際のプリント枚数に応じて注文情報 C の内容を変更することにより、いずれかのサイト、ラボのデータベースに保管された注文情報 C を参照すれば、実際のプリント枚数の確認を行うことができることとなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

注文情報の内容を示す図

【図 3】

本実施形態の動作を示すフローチャート

【図 4】

注文情報 C の（選択ウィンドウ）一覧の表示形態を示す図

【図 5】

取消ウィンドウを示す図

【図 6】

注文情報の変更確定ウィンドウを示す図

【図 7】

変更確定情報を模式的に示す図

【図 8】

本発明の他の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図

【図 9】

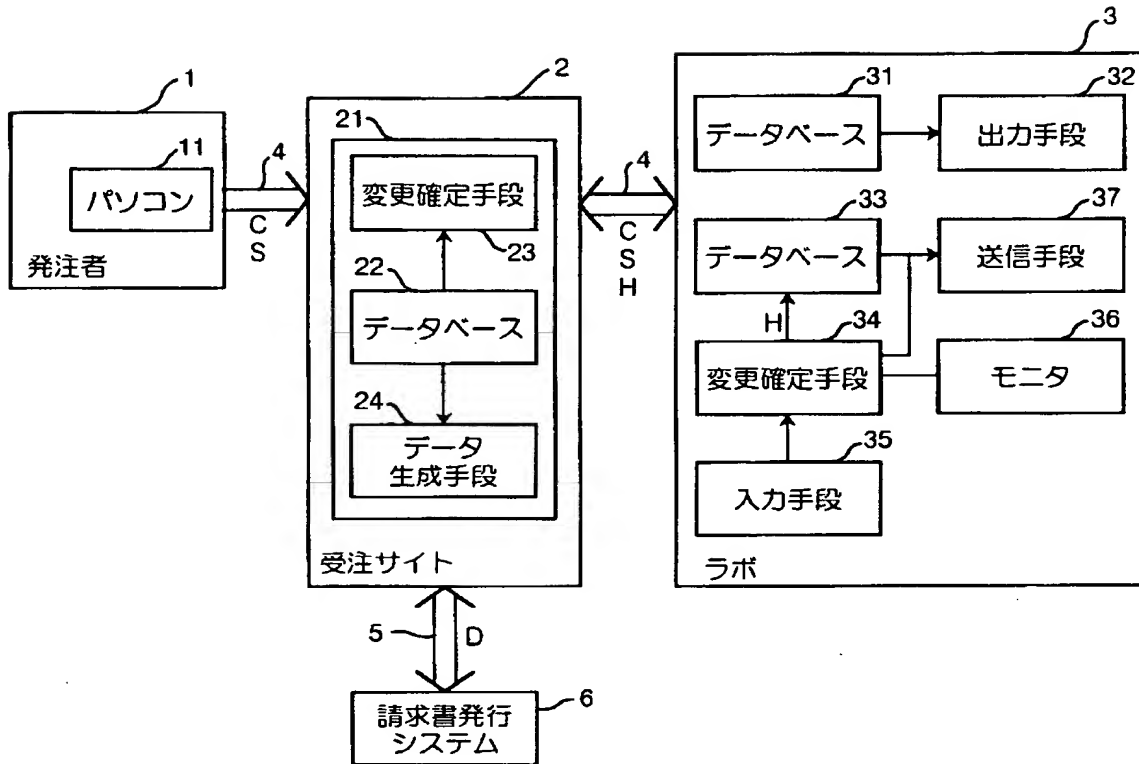
本発明のさらに他の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図

【符号の説明】

- 1 発注者
- 2 受注サイト
- 3 ラボ
- 4, 5 ネットワーク
- 6 請求書発行システム
- 1 1 パソコン
- 2 1 プリント受注システム
- 2 2, 3 1, 3 3 データベース
- 2 3 変更確定手段
- 2 4, 3 8 データ生成手段
- 3 2 出力手段
- 3 4 変更確定手段
- 3 5 入力手段
- 3 6 モニタ
- 3 7 送信手段

【書類名】 図面

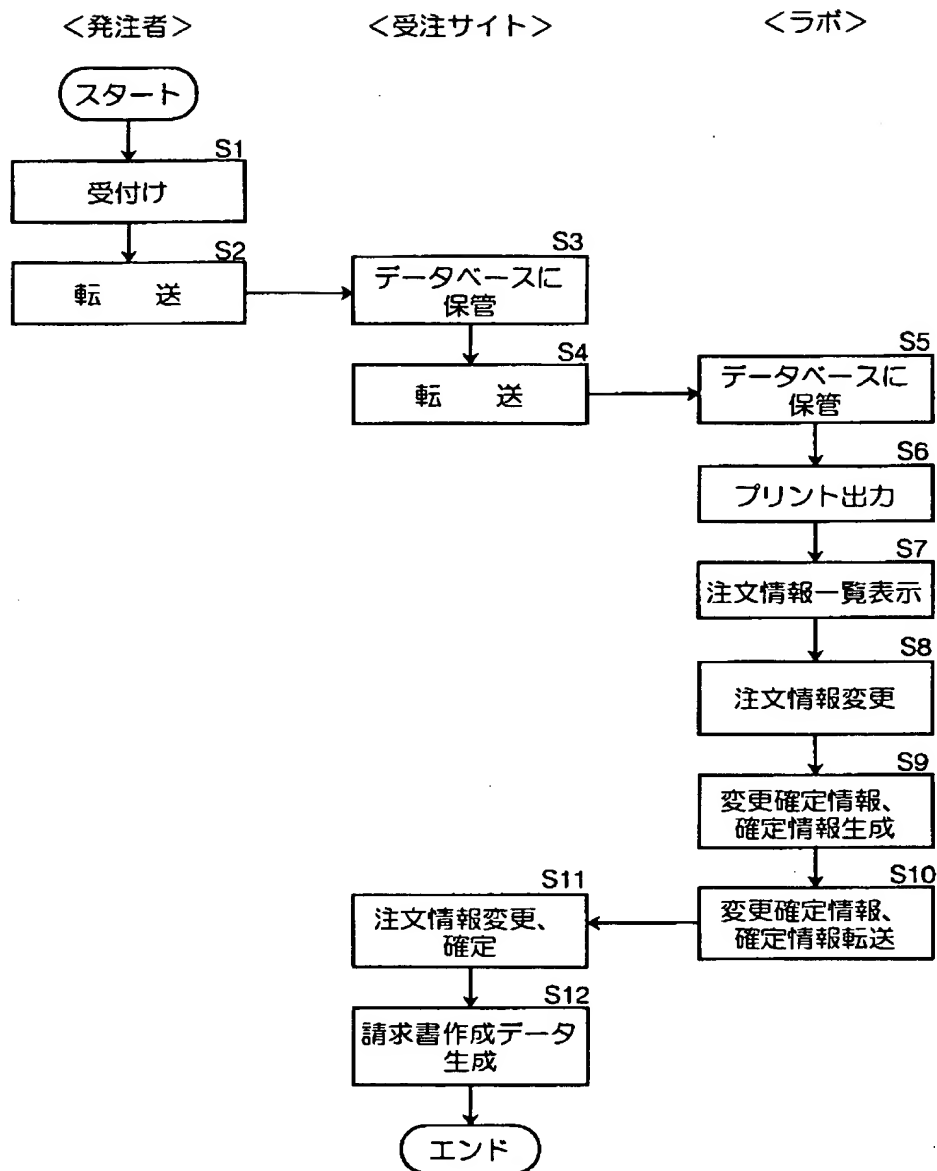
【図 1】



【図 2】

N00001	
1	
ファイル名	: File001.jpg
プリント依頼枚数	: 3
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
2	
ファイル名	: File003.jpg
プリント依頼枚数	: 1
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
	.
	.
	.
受取方法	: 郵送
トータルプリント依頼枚数	: 24

【図 3】



【図 4】

W1

B1
未処理
表示

B2
オーダー
取消

B3
オーダー
明細取消

B4
帳票
再出力

B5
全て選択
／解除

B6
オーダー
書き出し実行

B7
再プリント

20

▲▼

 日前まで表示

オーダー 番号	取次店 コード	受付番号	注文日付	プリント 枚数	画像数	処理日付	状態
N00101	1209987	99560	1999/10/13	25	7	1999/10/15	処理済み
N00102	1209987	99561	1999/10/13	7	5	1999/10/15	処理済み
N00103	3456789	9001	1999/10/14	40	30	1999/10/15	取消し

取引先選択

3 FDINET ▼

ソート順選択

☒ オーダー番号
☐ 取次店コード

閉じる

B8

【図 5】

W2

オーダー番号 N00101 受付番号 99560

取次店コード 1209987 注文枚数 25 顧客氏名 富士 太郎 電話 03-3456-7890

取引先 FDINET 画像数 7 顧客住所 東京都渋谷区〇〇〇

B9 B10 B11 B12

<前> 次> キャンセル 取消条件保存

<p>1.File 001.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="DSC"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="4"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>2.File 002.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="L"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="3"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>3.File 002.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="L"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="6"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>
<p>4.File 004.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="DSC"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="2"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>5.File 005.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="DSC"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="4"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>6.File 006.jpg サイズ</p> <p><input type="text" value="L"/></p> <p>枚数</p> <p><input type="text" value="2"/></p> <p>補正</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>取消</p> <p><input type="checkbox"/></p>

【図 6】

W3

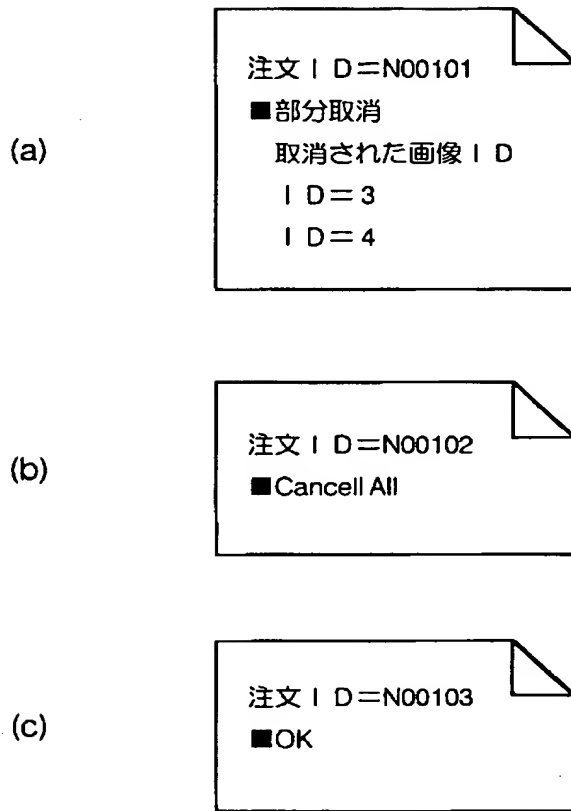
B13
シート再発行

B14
全て選択／解除

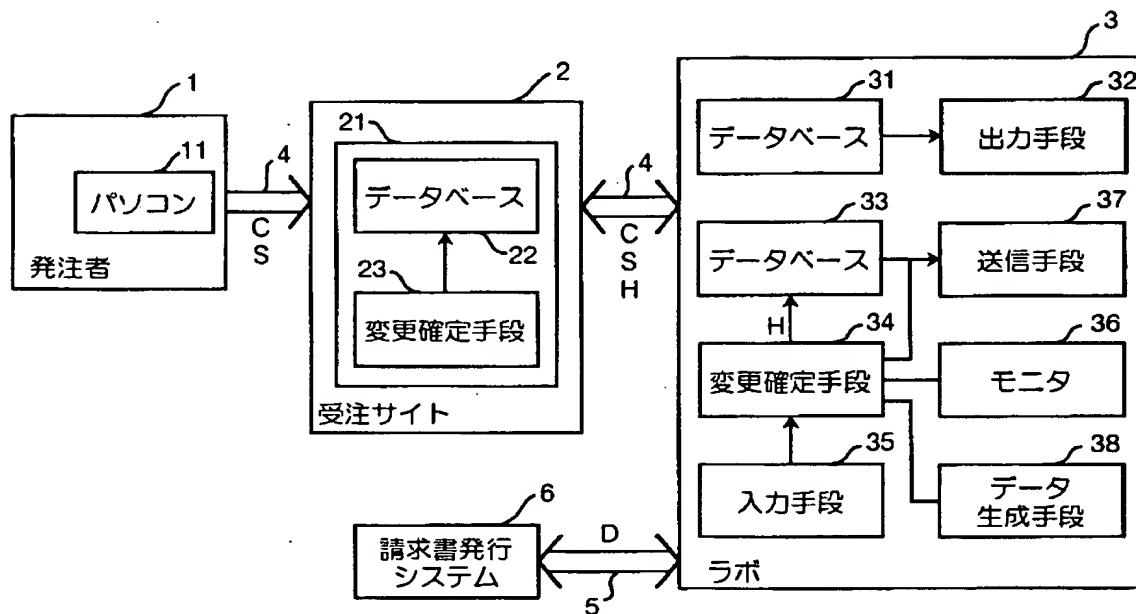
B15
確定

オーダー番号	受付番号	処理日付	状態
<input checked="" type="checkbox"/> N00101	99560	1999/10/13	未確定
<input checked="" type="checkbox"/> N00102	99561	1999/10/13	未確定
<input type="checkbox"/> N00103	9001	1999/10/13	未確定
<input type="checkbox"/> N00104	9002	1999/10/13	未確定
<input type="checkbox"/> N00105	9003	1999/10/14	未確定

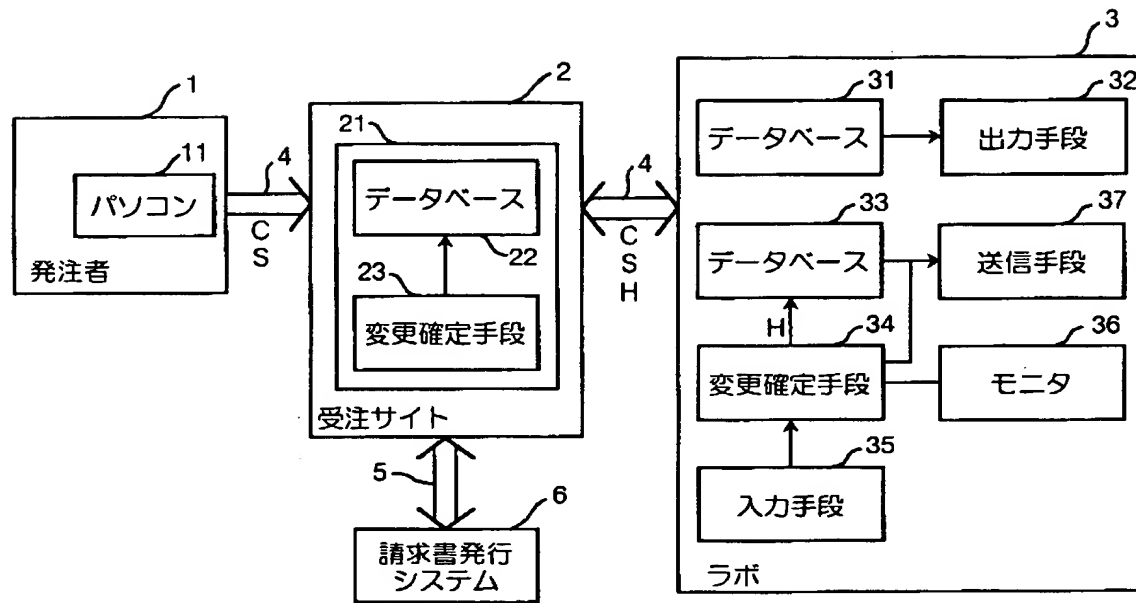
【図 7】



【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 注文情報に基づいて画像データのプリントを行うプリントシステムにおいて、実際のプリント枚数と注文情報に指定されたプリント枚数が異なるという不具合をなくす。

【解決手段】 発注者 1 から転送される注文情報 C を受注サイト 2 のデータベース 2 2 およびラボ 3 のデータベース 3 3 に保管する。ラボ 3 において実際のプリント枚数と注文情報 C に指定されたプリント枚数とをオペレータが比較し、異なる場合には注文情報 C を変更する旨を入力手段 3 5 から入力する。これを受けて変更確定手段 3 4 は変更確定情報 H を生成し、データベース 3 3 の注文情報 C を変更しかつその内容を確定するとともに、変更確定情報 H を受注サイト 2 に転送する。受注サイト 2 の変更確定手段 2 3 は変更確定情報 H に基づいてデータベース 2 2 の注文情報 C を変更し、その内容を確定する。これにより、注文情報 C には実際のプリント枚数と一致したプリント枚数が記述される。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 9 8 3 1 1
受付番号	5 0 0 0 1 6 9 3 5 3 0
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 3 年 1 月 1 2 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年12月27日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S - 1 7 階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S - 1 7 階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社